

川上ダム通信

2015
1
月号



Vol. 112
Since 2005

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索
ご意見・ご感想はこちらへ <mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp>



明けましておめでとうございます

日頃より、読者の皆様方には川上ダム建設事業に対しご支援とご協力を賜りまして、大変ありがとうございます。年頭に当たり、平成27年の川上ダム建設事業について、概略をご説明申し上げます。

いわゆるダム検証の結果、平成26年8月に川上ダム建設事業の継続が改めて決まり、止まっていた時計が再び動き出しました。これを受け、早期にダム本体工事に着手するべく、検証中の「工期の点検」において本体公告までに行うとしていた諸手続き、各種補償を中心に今年の事業を進めてまいります。具体には、水没用地補償、廃止発電補償等です。

これらを進めるに当たっては、関係する地権者の方々や関係機関に対し、事業の重要性について極力わかりやすくご説明申し上げるなど誠意をもって臨み、できる限り早期に成果を上げたいと考えています。何とぞご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

次に、平成29年度の全線供用開始を目指し、付替県道青山美杉線の工事も鋭意進めてまいります。青山美杉線については、2年続いた台風による斜面崩落や想定以上に深かった地盤のため、工事をいったんストップして設計見直しをかけるなどご心配をおかけしていましたが、このほどようやく新たな工事内容がほぼかたまり、今年度内に工事を発注できる見通しが立ちました。道路延長は350m程度ですが、技術的な工夫が必要な工事であることから、将来にわたり安心して道路を使うことができるよう、安全に十分配慮しつつ入念な施工を行ってまいります。

また、河川の流量観測や地下水調査、各種環境調査なども継続的に実施することとしています。

以上が平成27年の主な事業予定です。これらの進捗状況は、本紙などで適宜お伝えしてまいります。

最後になりましたが、「川上ダム通信」に対して、いつも数多くの皆様から暖かい叱咤激励のお言葉を頂戴していることにつきまして、改めてお礼申し上げます。事業や地元に関する情報源として本紙を活用していただくことで、少しでも皆様のお役に立てることが、私どもの何よりの喜びですし、励みともなります。これからも読者の皆様方の声に真摯に耳を澄まし、よりいっそうわかりやすい情報発信に努め、川上ダム建設事業に対するご支援とご協力を引き続き賜りたいと存じます。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



【所長 神矢 弘】

コガマを移植しました

10月下旬、当建設所において、重要な植物のひとつである「コガマ」を保全するため移植を行いました。コガマはガマ科の植物で、通常のコガマと比べて花穂が小さく葉も細いのが特徴です。レッドデータブック近畿や三重県レッドデータブックに掲載されている重要な種です。川上ダム事業用地内の一角にも自生しているのですが、個体数が年々減少傾向で生育状況も思わしくありませんでした。

このため、専門家の指導の下、自生地のコガマをプランターに仮移植し、株数を増やすことから始めました。最初はプランターの中に4株だけだったコガマが、本当に増えるのか心配でしたが、毎日の水やりの甲斐もあり、夏を過ぎた頃には65株まで増やすことができました。

そして、いよいよ1年間育てたコガマを事業用地近隣へ移植する日がやってきました。コガマは湖沼や休耕田等の湿地帯を好むため、ぬかるみに足をとられながらの作業で大変苦労しましたが、なんとか無事に移植することができました。

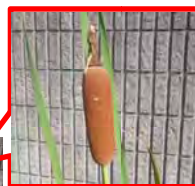
今後は、移植したコガマの生育状況をモニタリングしていくこととしています。



プランターに仮移植した時(4株)(H25.11)



成長したコガマ(65株)(H26.8)



花穂



移植時の状況(H26.10)

【環境課 金井大輔】

安全運転を心がけます

当建設所では、交通事故の防止と交通安全への意識向上を図るため、交通安全講習会を毎年実施しています。今回は、12月初旬に三重県交通安全研修センター(津市)にて実施しました。

屋内講習では飲酒体験ゴーグルによる体験学習を行いました。このゴーグルは飲酒が視覚に与える影響(視界のゆがみ等)を疑似体験できるものです。職員はゴーグルを装着して室内に設けられたコースを歩行しましたが、コースアウトが続出・・・。千鳥足で満足に歩行できず、飲酒運転の危険性を実感しました。



飲酒体験ゴーグルで千鳥足の職員たち

屋外講習では実車によるABSの作動体験を行いました。職員はABSのオン、オフそれぞれの状態での実車体験により、濡れた路面での急制動の難しさやABSの性能を実感しました。



ABS作動体験

講師の方からは「安全運転とは、事故の加害者にならないための運転だけでなく、被害者にならないための運転でもあります。」とお話があり、大変印象に残りました。

当建設所では、今後も安全運転講習会を定期的実施するとともに、職員一人ひとりが安全運転を心がけ、交通事故防止の徹底を図ってまいります。

【総務課 山下朋穂】

心の健康をチェック

12月9日（火）、当建設所において、メンタルヘルス研修会を実施しました。独立行政法人労働者健康福祉機構三重産業保健総合支援センターから講師をお招きし、職場のメンタルヘルス対策～セルフケア～と題し、メンタルヘルスの基礎知識について講演いただきました。

講演は、「セルフケア」と「ストレス」に主眼をおいて行われました。「セルフケア」とは、働く人自らが自分の心の健康をチェックし、心のサインに気づくこと、それを職場の仲間や産業医などに相談し対処することです。また、「ストレス」には要因、耐性、反応の3つの要素があり、多種多様な要因によりストレスが生じること、ストレスへの反応として、身体的、心理的、行動面での反応が現れること、さらに、



熱心に講師の話を聴く職員たち

ストレス反応が現れたときに適切に対処することで、心の病の発症を防止できることなどを学びました。厚生労働省のHP「こころの耳」ではメンタルヘルスに関する有益な情報が提供されています。

今回学んだことを有効に活用し、職員自らがストレスにうまく対処し、セルフケアを行うことによって、快適な職場環境づくり、効率的な業務遂行に繋げていければと考えます。

【総務課 木村数也】

「こころの耳」のご紹介

働く人のメンタルヘルス・ポータルサイト「こころの耳」(厚生労働省)



こころの耳

ポータルサイト こころの耳

ポータルサイト「こころの耳」はこちらをご覧ください。 <http://kokoro.mhlw.go.jp/>

川上ダムホームページに写真館コーナーができました

当建設所では、川上ダム事業に関して広く皆様に知っていただくための情報発信のツールとして、川上ダムホームページを作成・運営しています。

このたび、川上ダムホームページのリニューアルに併せて、写真館コーナーを設けました。写真館コーナーでは、ダム事業地内や建設所周辺の四季の風景、地域の行事やイベントなど、職員自らが撮影した写真のうち、代表的、特徴的なものを掲載しています。

今後も、写真館コーナーに掲載している写真を適宜更新していきますので、ぜひ川上ダムホームページをご覧ください。

以下にその一例をご紹介します。



満開の桜（伊賀市矢地バス停）



青山にかかる虹（建設所より）



種生神社秋季例大祭（伊賀市種生）

☆川上ダムホームページはこちらからご覧ください。 <http://www.water.go.jp/kansai/kawakami/index.htm>

☆写真館コーナーはこちらからご覧ください。 <http://www.water.go.jp/kansai/kawakami/joho/photostudio/index.html>

【総務課 木村数也】

～ちよつと一服 ㊤㊤㊤



みなさんは、尼ヶ岳をご存じですか？川上ダムの集水域で標高が一番高い山です。その標高は957.6mで前深瀬川の源流域にあり、地元では、通称伊賀富士と呼ばれています。

今回は前深瀬川の源流域がどの様になっているのか自分自身で確かめたく安易な気持ちで登山に挑んだのですが、年相応の体力を過信して登山をしてはいけないと痛感した一日になりました。

自然歩道と書かれた看板を見ながらハイキング気分で歩き始めると、途中から延々と続く急な階段に遭遇し四苦八苦。普通に登るだけでも大変なのに、この長い階段を作るために、急な斜面を人力で、沢山の資材を運び作った苦勞を思うと頭が下がる思いでした。

また、登山中、気持ちが挫けそうになりながら脳裏に浮かんだのは、徳川家康公の人生訓「人の一生は重荷を負いて遠き道を行くが如し。急ぐべからず。・・・」の一節。人生も登山も同じようなものだと思ひながら一段一段と踏みしめて歩きました。登山開始から約2時間後、山頂に到着。苦勞して登った分だけ山頂でのご褒美のお茶と空気の味はめっちゃ格別でした。



延々と続く階段！



頂上からの伊賀市中心部を望む

山頂からの景色は大パノラマで、四日市から青山高原、伊賀市から名張市方面が一望出来ます。特に新緑や紅葉の時期であれば、抜群のロケーションであること間違いなしです。階段歩きに自信のある方に特にお勧めの場所です。コースにもよりますが、大人であれば休憩食事時間も込みで往復4時間あれば十分だと思います。

一度、自分の体力確認も兼ねて訪れてみては如何ですか。

【第二用地課 福田達也】

本紙に対するご意見と掲載記事を募集します♪

当建設所では、読者の皆様により一層親しみながら川上ダム通信をお読み頂けるよう、本紙に対するご意見や掲載記事を募集しています。詳細については、下記までお問い合わせくださいませようお願いします。

【問い合わせ先】 総務課 梅村 TEL: 0595-52-1661 Mail: somu1@lily.ocn.ne.jp

※掲載記事については、広告など営利目的のものはお受け致しかねますのでご了承下さい。

イベントのお知らせ

大村神社初詣

開催日：1月1日(木)～1月7日(水)

開催場所：大村神社

お問い合わせ：大村神社

TEL: 0595-52-1050

【広報誌発行事務局】

編集長	神矢 (所長)	
デスク	梅村 (総務課長)	田中 (工務課長兼工事課長)
記者	渡辺 (総務課)	高橋 (第一用地課)
	桐山 (第二用地課)	大谷 (調査設計課)
	金井 (環境課)	飯島 (工事課)
	日隈 (工務課)	